

図書館だより

2010
No.163

- 2010年は国民読書年です。・・・・・・・・ P1
- ブックスタート・特別整理・館長コラム・・・・・・・・ P2~3
- 郷土の文化人 その10 長谷川権・・・・・・・・ P4



ふじさわ

図書館のホームページ <http://www.lib.city.fujisawa.kanagawa.jp/>

サッカーワールドカップもあるけれど 今年はこれも・・・

一昨年国会での決議を経て、2010年は国民読書年と定められました。



じゃあ、読もう。

決議には、「文字・活字を受け継ぎ、さらに発展させ、心豊かな社会の実現につなげていくことは、今の世に生きる我々が負うべき重要な責務」と明記されています。

勉強のため。時間があるから。知りたいことがあるから。どんなときでも、図書館・図書室がお役に立ちます。新刊・人気のものだけでなく、さまざまな本があなたを待っています。

小説、ノンフィクション、詩や俳句、写真集。絵本も子どもだけのものではないのです。いままで、手にとらなかったジャンルが、意外と今のあなたにピッタリかもしれません。この春、「無料」の図書館で、気軽にチャレンジしてみませんか。

2010年は図書館で、図書室で。さあ、読もう。



利用案内
休館日のお知らせ など
図書館ホームページ携帯電話版につながります。

(携帯電話版)
<http://www.lib.city.fujisawa.kanagawa.jp/i/>



資料の予約などには、図書館カードの登録とパスワードが必要です。
お問い合わせは、4つの市民図書館へ。

- 【市民図書館】 総合市民図書館 (Tel.43-1111) 南市民図書館 (Tel.27-1044) 辻堂市民図書館 (Tel.35-0028) 湘南大庭市民図書館 (Tel.86-1666)
- 【市民図書室】 長後 (Tel.43-7655) 明治 (Tel.35-7095) 辻堂 (Tel.35-7076) 村岡 (Tel.28-6939) 片瀬 (Tel.28-6935) 遠藤 (Tel.88-6235) 六会 (Tel.83-4686) 善行 (Tel.83-4687) 藤沢 (Tel.28-6895) 鶴沼 (Tel.35-7096) 御所見 (Tel.48-4675)

図書館をとびだして…

ブックスタートについて



© 2006 KENOFFICE/BOOKSTART
Bookstart

ブックスタート、ご存じですか？

ブックスタートとは・・・

子どもと保護者の方が絵本を介して、ゆっくり心ふれあうひとときをもつきっかけをつくることを目的とする活動です。

1992年に英国バーミンガムではじまり、日本では2000年「子ども読書年」に紹介され、子育て支援の活動として全国に広がりました。藤沢市では子育て支援課・こども健康課・図書館そしてボランティアの連携のもとで2006年11月から実施しています。



「赤ちゃん絵本をひらいたら」(NPOブックスタート編／岩波書店)に、藤沢市のブックスタートが取り上げられました



おいしそうないちご！ ついつい手が伸びます(^o^)

ブックスタート以外も★

図書館では地域の子育てを応援しています。

お散歩がてら、近くの図書館・図書室に遊びにきてください♪



パパのおひざの上でゆっくりえほん(*^_^*)

これからも、たくさんの子ども達と保護者の方一人ひとりへ、
絵本を読み合うぬくもりを届けてまいります。

ブックスタート

対象者：1歳6か月児健診受診対象者とその保護者

日時：1歳6か月児健診後 会場：南北保健センター

対象者には事前にこども健康課から健診通知とともにお知らせが届きます。

お問い合わせは 総合市民図書館・児童担当 (Tel. 0466-43-1111) まで





特別整理期間って何してるの？

～より利用しやすい図書館・図書室とするために資料を点検・整理しています～

毎年、図書館・図書室は「特別整理期間」を設けて蔵書点検等をしています。

さて、蔵書点検とはどんなことをしているのでしょうか？

簡単に言えば「棚卸」です。蔵書が無くなっていないか、データが正しいか、資料の汚れや破損がないかを確認しています。

蔵書点検をすることで、図書館の館内コンピュータやインターネットから、資料の所蔵情報などを正確に提供できるようになります。皆さんがお求めの資料を正しく速やかに提供するために必要な作業です。

また、開館中にはできない機器の点検や、館内の大規模な清掃なども、特別整理期間におこなっています。

どうぞご理解とご協力をお願いいたします。



■豆知識 ～曝書（ばくしょ）～

蔵書点検は昔、曝書（ばくしょ）とも呼ばれていました。本来の意味は、和書の虫干しのことです。湿気を含みやすい和紙や唐紙からなる古書を広げて、日光にあて風を通し虫害を防ぐことを目的とした、年中行事です。

平成22年度 特別整理による休館期間

総合市民図書館・辻堂市民図書館・市民図書室

5/26（水）～6/4（金）

南市民図書館・湘南大庭市民図書館

6/7（月）～6/16（水）



館長 コラム



こどもの読書週間

先日ある新聞に、昨年英国の9～15歳を対象に、20世紀の二つの大戦について聞いた調査結果が載っていた。

それによると、ヒトラーとは誰か？「重力の発見者」13.5%、「ドイツのサッカー代表監督」7%、初めて核兵器を使用した国は？なんと「日本」との答えが31%。常識といえる史実に対するこの回答にちょっとショックを覚え、未来を担う子ども達に、過去の歴史をきちんと伝えていくことの大切さ、そして、そのための読書の大切さを再認識した次第である。

4月23日は「子ども読書の日」、（4月23日が「ユネスコ世界本の日」となっており、2001

年に施行された「子ども読書活動推進法」でその日を「子ども読書の日」と定めた）その日から5月12日までが「こどもの読書週間」となっている。

藤沢市でも、この期間に、図書館・学校・地域が連携し、様々な行事や取り組みを実施し、子ども読書の推進の一助としていきたいと計画している。各ご家庭でも、親子でぜひご参加いただければ幸いです。

はせがわ かい 長谷川 權

プロフィール

俳人。1954年(昭和29年)熊本県生まれ。俳句結社『古志』主宰。朝日俳壇選者。「季語と歳時記の会」代表。東京大学法学部卒業後、読売新聞記者となる。2000年、読売新聞社を退社し俳句に専念。

1990年、俳論集『俳句の宇宙』でサントリー学芸賞、2003年、句集『虚空』で読売文学賞を受賞。2004年より読売新聞に詩歌コラム「四季」を連載中。藤沢市鵠沼在住。

俳句は「言葉の音楽」

長谷川權さんは、中学校時代に国語の先生の影響で俳句を詠みはじめ、若い頃から気鋭の俳人として常に注目されてきた方です。20年以上にわたり俳句と新聞記者の仕事を両立させてきましたが、2000年に新聞社を退社して俳句に専念するとともに、多数の句集や俳論集、俳句の入門書などを出版されています。

俳句は、詠んでみたいと思っても、なかなか敷居の高く感じられるものですが、まずは名句を鑑賞して五七五の十七音の向こうに広がる世界を味わってみてはいかがでしょうか。長谷川さんの著書『国民的俳句百選』では、古典と呼ばれる句から現代の俳人の句まで、選びぬかれた名句を鑑賞しながら、俳句の魅力について知ることができます。一句目として紹介されたのは、

柿くへば鐘が鳴るなり法隆寺

正岡子規の名句です。これを「柿を食べていると法隆寺の鐘が鳴る」という散文と比べてみると、俳句の持つ五七五のリズムがいかに心地良いか、よくわかります。五七五で言葉が「切れ」ることによりリズムと「間」が生まれ、十七音の短い言葉でありながら、そこには音楽が生まれます。言葉の奏でる音楽に耳をかたむけ、そ

の風景を思い浮かべて味わうことができるのです。このように、俳句は何百年も前に詠んだ人と、現代に生きる私たちを同じ思いの「場」に立たせてくれる、最高の芸術であると長谷川さんは語られています。

2008年に、長谷川さんがそれまでに発表されてきた七つの句集が『長谷川權全句集』として一冊の本になりました。日本の四季の移り変わりや、旅で目にした美しい風景、日常のふとした瞬間など、選びぬかれた言葉が作り出す美しい響きと、それぞれの句から広がる世界を存分に感じていただけることと思います。

江の島の裏は速汐しらす舟

(句集『新年』より)

【著書】

『長谷川權全句集』 (花神社) 2008年
『新年』 (角川書店) 2009年
『富士』 (ふらんす堂) 2009年
『「奥の細道」をよむ』 (筑摩書房) 2007年
『国民的俳句百選』 (講談社) 2008年
『一億人の俳句入門 決定版』 (講談社) 2009年
など多数

藤沢市図書館では、長谷川權氏の著書約30冊を4館で所蔵しています。



一億人の俳句入門 決定版
(講談社)

編集後記

- ◆ 今年度最後の号を無事発行できました。特集記事等どうぞお楽しみください。
- ◆ さわやかな日差しが心地よいこの季節。お散歩がてらのご来館をお待ちしております。

発行 藤沢市総合市民図書館
藤沢市湘南台 7-18-2
Tel 0466-43-1111